



## 銀行貸付債権(バンクローン)市場の見通し

米国経済は、堅調な個人消費、米国企業の好業績等を背景に緩やかな成長を続けており、2015年12月以降、利上げ局面に入っています。

そうした中、変動金利によって金利上昇の恩恵を受けやすいと考えられる銀行貸付債権市場は堅調に推移してきています。トランプ大統領の政策実現性には不確実性も多く、市場が混乱する局面も想定されますが、米国経済の持続的な成長、継続的な利上げ等によって、銀行貸付債権市場は引き続き堅調に推移することが期待されます。

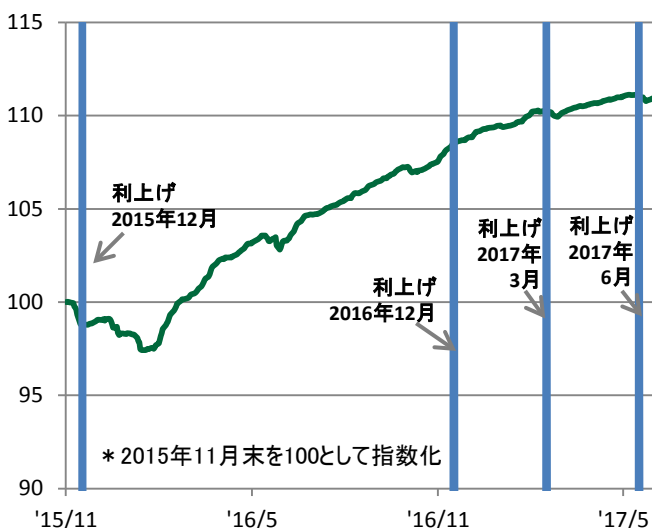
### 1. 好調な企業業績

米国経済の持続的な成長により企業業績が拡大し、企業の信用力が改善(信用スプレッドの縮小)することによって、結果として銀行貸付債権価格の上昇につながることを期待されます。

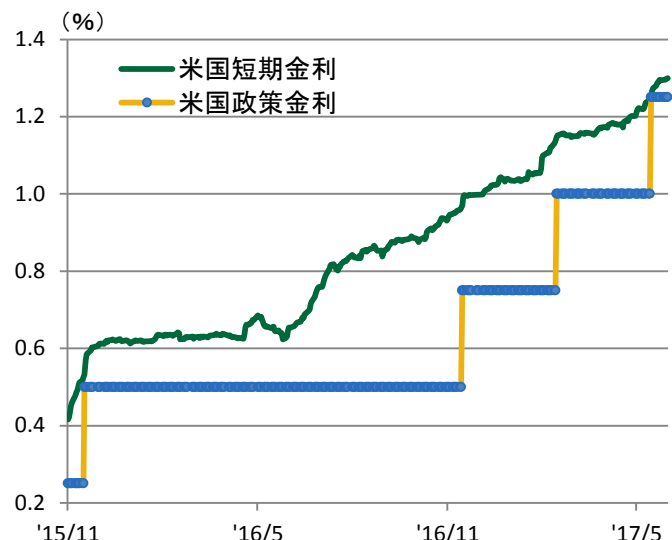
### 2. 利上げ局面

2017年後半から2018年末にかけて、数回の利上げが予想されています。過去の利上げ局面において、銀行貸付債権市場は良好なパフォーマンスを示していることから、今後も利上げの恩恵を受けるものと考えられます。

米国の銀行貸付債権指数の推移  
(2015年11月末～2017年6月末、日次、米ドルベース)



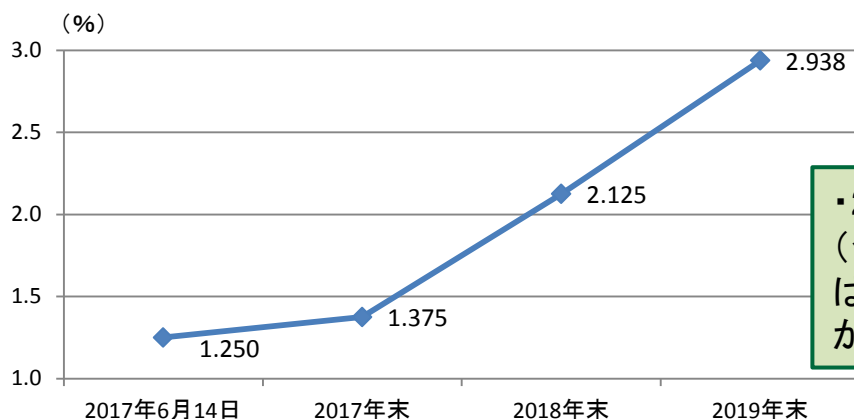
米国の短期金利と政策金利の推移  
(2015年11月末～2017年6月末、日次)



※米国の銀行貸付債権指数はクレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックス(米ドルベース)を使用しています。同指数は米国のバンクローン市場の値動きを表す指標の1つです。米国の短期金利は米ドル3ヵ月LIBORを使用しています。  
出所:ブルームバーグのデータをもとにマニユライフ・アセット・マネジメント株式会社が作成

※当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。  
「当資料に関する留意事項」を必ずご覧ください。

## FOMC参加メンバーによる政策金利(中央値)予測(2017年6月14日時点)



・2017年は年内1回(合計3回)、2018年は3回程度の利上げが見込まれます。

出所:FRBのデータをもとにマニライフ・アセット・マネジメント株式会社が作成

## 過去の米国政策金利上昇局面における米国銀行貸付債権指数のパフォーマンス

(米国の政策金利:1993年1月1日~2017年6月末、日次)



※米国銀行貸付債権指数のパフォーマンスの算出にはクレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックス(米ドルベース)を使用しています。

※期間①:1994年1月1日~1995年2月31日、期間②:1999年5月31日~2000年5月31日、期間③:2004年5月31日~2006年6月30日、期間④:2015年11月30日~2017年6月30日

出所:ブルームバーグのデータをもとにマニライフ・アセット・マネジメント株式会社が作成

※当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。

### [当資料に関する留意事項]

- 当資料は、マニライフ・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます)が、投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、特定の投資商品の推奨を目的としたものではありません。
- 当資料記載のデータや見通し等は、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報をもとに作成しておりますが、正確性、適時性を保証するものではありません。
- 当資料の内容およびコメントは資料作成時点における経済・市場環境等について当社の見解を記載したもので当該見解は予告なく変更される場合があります、将来の経済・市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 各指数に関する著作権等の知的財産、その他一切の権利は、各々の開発元または公表元に帰属します。
- 投資信託のお申込みの際は、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)で商品内容をご確認の上、ご自身で投資のご判断をお願いいたします。
- 当資料に関する一切の権利は、引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部または全部の無断での使用・複製はできません。

マニライフ・アセット・マネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第433号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会